

消防出初式

地域の安全と防火を決意

消防出初式が、1月6～8日の3日間にかけて、市内3か所で行われました。出初式は、新年になって消防署員や各地区の消防団員が一堂に会する最初の行事で、火災や災害のない1年であることを願って、年の初めに毎年行われているものです。署員・団員が市長や消防団長などから姿勢や服装、消防車両の点検を受けました。続いて、多くの参加者が見守る中、分列行進をきびきびとした態度で行い、災害や事故への備えを新たにしました。

また、消防防災活動に貢献した消防団員など約180人に感謝状や表彰状が贈られました。

式典終了後は、消防車両が放水試験を実施し、日ごろの訓練の成果を披露しました。標的に向かって空高く舞い上がった水しぶぎに、見学に訪れた人々たちから歓声が上がりました。



人員・姿勢・服装の点検



式典の様子



放水試験



分列行進